

# 宮陵 Kyu-Ryo

2023 (令和5) NO.72



「我が母校・中山キャンパス」(絵 渡邊 恵子)

一般社団法人神奈川大学宮陵会

# カタールワールドカップ視察報告

## — 本学OB伊東純也選手の応援を兼ねて —

(公社) 栃木県サッカー協会理事地区委員会委員長  
一般社団法人佐野市サッカー協会副会長  
**渡辺 孝**

わたなべ・たかし  
1954年生まれ。栃木県矢板市出身。矢板東高校卒業後、神奈川大学に進学。1977(昭和52)年経済学部経済学科卒業。1978年に公立小中学校事務職員となり、佐野市・安足地区の事務兼会長を務める。2009年10月、とちぎ教育賞受賞。1981年4月に佐野市に転居。サッカーの普及が遅れていた佐野市で普及活動に着手。多くのチーム設立に携わる。栃木県少年サッカー連盟理事・安足少年サッカー連盟会長を歴任し、少年サッカー普及発展に尽力。40年以上、佐野サッカー協会の事務局長・副会長として「日本一の地域協会」を目指して活動している。



45年間に渡り、小学生・中学生のサッカーの指導と協会活動に携わってきました。現在も中学生の指導を続けています。大学では卓球部に籍を置きました。毎日の30分のランニングが68歳になった今も審判で走れる基礎になっています。今後もJFAのC級ライセンスは維持していきたいと思えます。

カタール大会は、ロシアのウクライナ侵攻により、ロシアは出場資格を剥奪され、ウクライナは出場決定戦で敗れ参加ができませんでした。サッカーワールドカップはオリンピックを凌ぐ世界最大のスポーツの祭典です。その大会の視察を計画し、パナマの旅行社とメール・ZOOM・ラインで連絡を取り、入国・スタジアムの入場・地下鉄の無料乗車に必要なHavaaカードを取得しました。11月22日に出発して、翌日ドーハ着、23日に「日本対ドイツ」観戦、24日に「ブラジル対セルビア」(決勝の舞台)観戦、25日はオプシヨン観光(砂漠をランドクルーザーで疾走)、翌日帰国の途に就くという日程です。円安の影響で、

ホテル代・飛行機代・チケット代で、総額一人約80万円という高額な旅費になりました。石油・天然ガスの宝庫カタールは、一人当たりのCO<sub>2</sub>排出量が世界一と言われている国です。ホテルは冷房が効きすぎていて、体調を崩しました。イスラム法に従い5日間禁酒しました。



JFA表彰状

伊東純也選手が代表デビューした5年前のE-1選手権の日韓戦を味の素スタジアムに応援に行きました。

開始早々得意のドリブルで切り込みPKを獲得しました。伊東選手は、今回のワールドカップで、4試合全てに出場しました。その内、3試合はフル出場です。26人の代表に選ばれること自体大変ですが、全試合に出て活躍することは素晴らしい快挙です。スペイン戦の堂安選手のミドルシュートは伊東選手のヘディングのアシストパスから生まれました。伊東選手がフル出場したドイツ戦、前半は完全に負け試合。ハーフタイム、日本の選手は誰も練習に出てきませんでしたが、おそらく森保監督の檄が飛び、後半の戦い方を全員に指示していると思えました。後半一転して日本が攻勢に出て、逆転すると、私たちは狂喜乱舞しました。日本が勝った直後は、隣に座ったドイツ人を含め周りの全ての人が、ジャポン congratulations と言って祝福してくれました。

に出ない母校は寂しい限りです。文武両道を実現して、未来永劫魅力ある学び舎として母校が発展存続していくことを願っています。「栃木県宮陵会」には吹奏楽部関係者が多くいます。今後も日本一の吹奏楽部を維持していただきたいと思います。

残された人生、まちづくりに貢献していきたいと思えます。佐野SS研(乳幼児教育研究会)の事務局次長を務めています。少子化は日本の最大の政治課題です。佐野市は、東京大学CEDDEP(発達保育実践政策学センター)と共同研究協定を結びました。セデップとOECDの全面的な協力を得て、ヨーロッパとオンライン・同時通訳による「国際フォーラム」を開催しました。安心して出産して子育てがしやすい環境をつくる。質の高い保育の実現を目指しています。

市の協会を法人化したのも、まちづくりに貢献するためです。宿泊を伴う大会や合宿を誘致していきま

す。「365日人々が集う複合型多機能型J1規格のスタジアム建設」、これが私の人生最後の仕事です。